高校　２年 選択音楽

「日本の音楽に親しもうⅡ

～旋律づくり～」

資料の活用

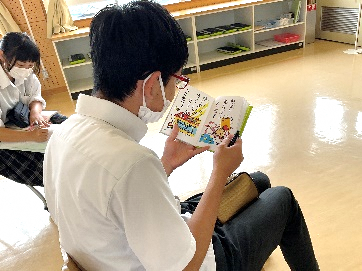
　好きな俳句を選んで、歌にしよう

**ねらい**

　　　　　　　　〇言葉や音楽の構成に関心をもち、それを活かして主体的に創作活動に

取り組む。

　　　　　　　〇普段読まないジャンルの本に触れ、日本語の面白さを発見する。

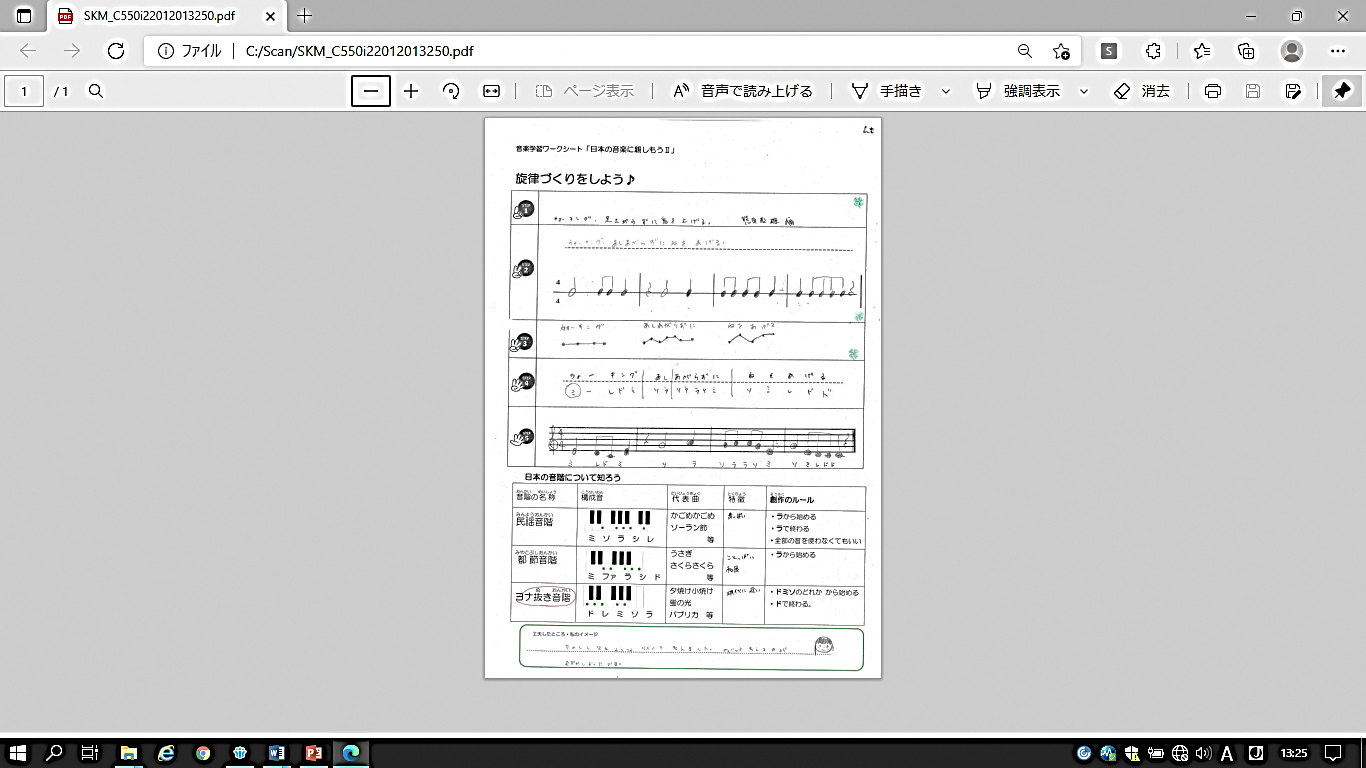


**学　習　展　開　・・・・・・・・・**

1. 学校司書が用意した本から、好きな俳句・川柳を探して決める。
2. 音符カードを並び変えながら、言葉のリズムを考える。
3. 日本語アクセント辞典を使って、作品に使われている言葉の抑揚を調べる。
4. 調べた抑揚をもとに、日本音階の５音を用いて音程をつけ、旋律を作る。
5. 前時までに考えてきた旋律を楽譜にする。
6. 楽譜を見ながら歌う練習をし、作品を発表し

合う。

好きな俳句・川柳を選ぶ　日本語の抑揚を調べる



旋律づくりのワークシート▶

**★指導のポイント**

**◆司書教諭と学校司書の関わり**

◆文字の量や大きさ、写真・イラストの多さなど、生徒が読みやすい本を選書する。古典俳句だけでなく、笑ってしまうような面白い現代川柳も用意し、親しみを持たせる。

◆日本語アクセント辞典で言葉を探す際に一緒に発音をしてみることで、アクセント記号の見方を伝える。

●学校司書、司書教諭、教科担当者で、どんな文学作品に旋律をつけるか等、授業内容を相談する。

●学校司書は県立図書館のレファレンスサービスを利用し、生徒が興味をもちそうな俳句や川柳の作品集を用意する。

●学校司書、司書教諭は日本語アクセント辞典を

用意し、教科担当者と一緒に辞典の使い方を指導する。

**資料**

「わくわく子ども俳句スクール」全３巻　国土社、「俳句でみがこう言葉の力」全４巻　学研プラス、「小学生のための俳句帖　みんなで楽しく五・七・五！」朝日小学生新聞社、「俳句わくわく５1!」岐阜新聞社、「子どもおもしろ歳時記」理論社、「新明解日本語アクセント辞典」三省堂　等